看護学部

看護学科

【取得可能な資格】

看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格(※選択制)

●看護師の関連資格 ・保健師・助産師・専門看護師・認定看護師 など

1002

看護学科が養成する人材

高度専門職業人の育成と社会貢献機能を果たすため、「人間の存在の探求」「看護理論と看護実践の統合」「在宅ケアシステムの構築」「多文化の 交流の推進」という4つの柱を教育の軸にしています。キャンパスは教育・文化・情報施設が集積するシーサイドももちエリアにあり、地域とつながり ながら学びを深め、視野を広げるのに非常に適した場所です。福岡山王病院や総合ケアセンターももちなどグループ関連医療福祉施設への アクセスも良好で、実践的な教育環境が整っています。超高齢社会において、在宅ケアを含めた「地域の中での医療・看護」、そして「チーム医療・ チームケア」の重要性が高まるなか、「人の尊厳」を大切にして地域社会へ貢献できる人材を育てます。



Message

本看護学科は、建学の精神「生命の尊厳、生命の平等」を基盤に、看護職とし て、人々への深い理解と倫理性を備えた看護実践能力の育成をめざしていま す。看護学は、健康に焦点をあて、命の誕生から人生の終焉に至る生活を支 援する実践の科学です。今日の医療保健福祉は、病院完結型から地域完結型 へとシフトし、国内外を問わずその人らしい健康的な生活の維持と継続がよ り一層重要視されています。優しい看護を行うには、看護の専門職者として、 医療・看護の専門的知識、状況に応じた適切な判断、個別性を見極めた実践、 根拠と説明に基づく行動、実践の評価と改善を備えておくことが大切です。 看護職の基盤となる専門的な知識・技術・態度を着実に身につけるために、大 学4年間は、講義·演習·実習という授業形態を辿りながら、段階的に学修を進 めていきます。卒業後は多様化した職場や働き方により、実践の経験を積み 重ね、国内外において自分の専門性に基づくキャリアをさらに高めることが できます。本学の関連職種や海外研修などを通して幅広い視点を身につけ、 生涯にわたって学びながら人々の健康と生活に貢献できる看護職をめざしま しょう。



広島大学大学院医歯薬保健学研究科保健学専攻、 博士(保健学)、大分大学大学院教育学研究科 学校教育専攻、修士(教育学)、大分県立看護科学 大学小児看護学研究室教授を経て現職。日本 看護科学学会誌専仟査読委員、日本小児がん学会 誌査読委員、日本小児看護学会評議員、JICA 「ウズベキスタン看護教育改善プロジェクト」に おいて短期専門家として小児看護領域日本側 青仟者を経験。

看護学科の特色

POINT.01

総合体としての人間を理解する

看護は人間を対象とする実践であり学問です。人間理解はその スタートであり、理解を深めていくことが永遠のテーマでもあり ます。看護知識や技術を身につけ、人間への深い愛にあふれた コミュニケーション能力を培います。

POINT.03

学際的看護を探求する

単純化された看護理論を身につければ、複雑な現場でも何が 重要か見極めることができ、看護を実践しやすくなります。 また、現場で応用できる能力を体得するために、「チーム医療・ チームケア」を学びます。

POINT.02

社会の変化に柔軟に対応する

現代社会の変化に伴い医療に対する要求は幅広く、それに応え られる柔軟な能力が必要です。また福岡市に位置するキャンパス が都市型災害被災地支援の拠点として機能できるように、災害時 のシステム構築など教育研究機関としての発展をめざします。

POINT.04

国際社会に貢献する

アジア各国の医療や福祉は、まだまだ発展の余地が大きく、日本 の医療人の活躍が求められています。本学科では、日本国内に とどまらず、世界で活躍できる人材を養成します。

「看護学科の魅力〕

国家試験、全員合格に向けて 充実のサポート体制

国家試験に向けて、教員と学生が 一体となって学修の年間計画を立て ます。また、模擬試験の結果に合わ せて個別に学修方法などのアドバイス や対策を行います。

幅広い視野を備えた 看護職者の育成

看護専門職として豊かな人間性と 看護実践力を育成するために、幅広い 教養教育と早期臨床体験や海外研 修、関連職種連携教育などを通して 専門性の高い看護学を段階的に学び

保健師の資格取得も めざせる

在学中、看護師と同時に保健師(選択制・定数あり)国家試験 受験資格の取得をめざせます。また、助産師の資格に関しては、 卒業後に姉妹校の国際医療福祉大学大学院「助産学分野 実践 コース(大田原キャンパス)」に進学することで、国家試験受験資格 の取得をめざすことができます。(保健師や助産師として働く には、看護師免許が必須です)

[仕事の展開と将来の展望]

専門分野で、高度な特定行為を 実践する看護師も!

看護師として働きながら、がん・精神・地域・老人・小児・母性など、特定の分野で水準の高い看護を提供する 「専門看護師」や「認定看護師」になる制度があり、その分野は年々増加しています。また、医師の診療補助 にとどまらず、手順書(医師の指示として作成する文書)により、特定行為を実施するために必要とされる 高度かつ専門的な知識および技能の向上を図るための研修、特定行為研修がはじまっています。

[活躍のフィールド]

医療機関

●病院·診療所

医療行政機関

●保健センター ●保健所

福祉施設

●老人保健施設 ●訪問看護ステーション ほか

看護師として活躍中!

手術室、病棟、

どんな現場でもやりがいを感じられます

私は手術室や病棟などで看護師としての経験を積んできました。手術室では医師への 器械出しや温度調整、体位変換など専門的で臨機応変な対応が、病棟では清潔ケア や食事介助など患者様に応じた対応が求められます。どの現場も大変ですが、その分 大きなやりがいを感じられるのが看護師の良いところです。手術後に患者様やご家族 に「ありがとう」と声をかけていただいたことや、気難しい患者様に心を開いて頼って いただいたことなど、印象的なエピソードがたくさんあります。

この春からは、福岡中央病院の急性期病棟で副主任として働いています。グループ の九州地区生涯センターの研修に参加するなど、充実した日々の中で自らのスキル アップに励みつつ、後輩の育成にも努めていけたらと思います。患者様の気持ちに 寄り添える看護師を育成することで、チーム全体での質の高い看護の提供につなげ たいです。

2015年国際医療福祉大学を卒業し、高木病院に入職。外科病棟、手術室での勤務などを経て、2023年 より福岡中央病院にて勤務。副主任として日々の業務に取り組みながら後輩の指導にあたっている。



西山 明日香 さん 福岡中央病院 看護師

地域包括ケア システムを支える 看護実践力と 国際的な視点を養成

超高齢社会へ向けた「地域包括ケアシステム」の要となる 看護実践力を養うため、すべての看護学領域を学べるカリキ ュラムを構築。シミュレーション教育をはじめ、学生が主体的 に学びを深めていける教育環境づくりにも力を入れています。 また、学生10~20名を教員1名が担当するアドバイザー制 を取り入れることで、学修や日常生活の相談に乗ったり、国家 試験合格の後押しをしたりしています。

授業での取り組み

看護実践の基盤となる看護技術

看護実践の基盤となる看護技術を修得するために、学習支援システム教材 を活用しています。本教材は、看護技術の基礎から臨床まで幅広く学修でき、 動画や手順など予習・復習としていつでも学ぶことができます。また、シミュ レーション教育を取り入れ、遭遇する臨床場面を設定しながら、個人および チームでその場面に必要とされる総合的な技術を学びます。

基礎から臨床への看護学実習

看護学実習は、専門職者としての看護師を自覚し、その経験を通して看護を より深く学ぶ重要な授業の一つです。訪問看護ステーションを含む、地域・ 在宅や医療の場で生活する人々への看護実践とともに、個別性のある科学的 な看護を学ぶために、専門領域の豊かな臨床経験がある看護教員が、少人数 グループで皆さんをサポートします。

看護研究とアドバイザー制

各学年進行のなかで蓄積された学修内容は、4年次に看護研究として展開 します。学生は関心のある研究テーマを選択し、専門領域に精通した看護教員 が研究指導を担当します。各教員は就職や進学などの生活支援についても アドバイザーとして関わるため、看護研究と生活の双方向から最終学年の 総括的な学修をバックアップします。





全員参加の海外研修で いろいろな価値観に触れられることが入学の決め手に

看護学科 2年

常盤 優衣 さん

(福岡県 九州国際大学付属高等学校出身)

入学当初は病名を聞いても実際にどのような病気かわからないものがたくさんありましたが、勉強をしてし うちに病気の原因や症状などを理解できるようになっていきました。理解が進むにつれ、関連する他の病気の ことなどもわかるようになり、医療に関する知識が日々蓄積されてきていることが楽しいです。

福岡国際医療福祉大学では、海外研修が必修科目となっています。学生のうちから海外の医療現場に立ち会える ことはとても貴重な経験です。さまざまな人と向き合い、いろいろな価値観に触れることで、視野が広がると思います。 海外研修を通して成長できることが本学の大きな魅力だと感じています。

将来は、企業で働く従業員を支えられるような「産業保健師」になりたいと考えています。健康診断や健康相談、 ストレスチェック後の対応、職場衛生環境の整備など、従業員の方々が心身ともに健康でいられるように支援した いです。そのためにも、人体に関する確かな知識と人々の生活を考慮した保健指導を考えられる柔軟性、企業に 即した公衆衛生の知識、気軽に相談しやすいと思われる人間性などを身に付けたいと思っています。

4年間の学修の流れ

看護職が働きかける対象を理解するための基礎理論を学ぶ

看護学の基礎理論を学び、初心者でもわかりやすいように授業を展開。いろいろな現象の捉え方、価値観、多様性に気づくことを目的にさまざまな学問分野に触れていきます。

●コミュニケーション概論 ●社会保障制度論 ●生命倫理 ●大学入門講座(看護) ●医学英語「基礎) ●医学英語「応用) ●日本語「(留学生のみ) ●日本語「(留学生のみ) ●日本語Ⅲ(留学生のみ) ●日本語N(留学生のみ) □心理学 □哲学 □倫理学 □文学 □教育学 □教育方法論 □発達心理学 □経済学 □社会学 □国際医療福祉論 □ボランティア実践 □メディカルマナー入門 □文化人類学 □日本国憲法 □手括入門 □雑談と傾聴―括す力と訊くカー □日本近現代史 □宗教学 □医学・医療史 □生物学 □物理学 | 医療とICT | 食と人間 | | 人間工学 | | 情報処理II(基礎) | | 情報処理II(所) * | | 健康科学理論 | | 健康科学実践 | | 医療福祉教養調義 | | 安語(基礎) □プレゼンテーション英語 □英会話 □韓国語 □中国語

専門基礎教育

●人体の構造と機能 ●疾病の成り立ち(病理学) ●疾病・治療論I(呼吸器疾患・感染症疾患、循環器疾患) ●疾病・治療論I(消化器疾患、歯科口腔、代謝と内分泌) ●臨床薬理学 ●病態栄養学●免疫と感染●公衆衛生学●保健医療福祉制度論*

●看護学原論 ●看護実践入門 ●生活支援技術論 ●看護理論 ●生活支援技術論演習(環境・活動・バイタルサイン測定) ●生活支援技術論演習I(清潔・食事・排泄)●地域・在宅看護学総論I(地域での暮らしと健康)□性と健康の科学

生活支援論実習

専門教育/臨地実習

健康と病気について考察し、より良い健康状態を探究する

健康と病気に関する理解を深めます。人間の健康に焦点を当てた実習を展開。対象者の最適な健康状態を生み出すための働きかけ方を学びます。

総合教育

専門基礎教育

●統計学

年

●疾病·治療論Ⅲ(血液疾患、皮膚・膠原病、腎泌尿器疾患) ●疾病·治療論Ⅳ(脳神経疾患、運動器疾患、感覚器疾患) ●疾病・治療論V(成長・発達と女性の疾患、成長・発達とこどもの疾患) ●疾病・治療論V(精神、老年期疾患、外傷と救急疾患) ●疫学* ●保健統計学* ●関連職種連携論 □保健医療福祉行政論*

専門教育

●看護過程論●フィジカルアセスメント●臨床関連技術論●臨床関連技術論●地域・在宅看護学総論(地域での療養支援)●地域・在宅看護学活法論●成人看護学総論 ●成人急性期看護学方法論 ●成人慢性期看護学方法論 ●老年看護学報論 ●小児看護学報論 ●リプロダクティブへルス看護学報論 ●精神看護学報論 ●感染と看護 ●看護と倫理 ●家族看護学 ●リハビリテーション看護学 ●健康教育学* □子ども健康学 □ストレスマネジメント □グローバルヘルス □公衆衛生看護学概論*

専門教育/臨地実習

●看護過程論実習 ●地域・在字看護学実習「(地域での暮ら」と健康) ●小児看護学実習「(地域で暮らす子ども)

充実の「臨地実習」で理論と実践を融合する力を養う

少人数グループ制で臨地実習を実施。さまざまな患者さんを対象に、医療保健福祉において看護職として必要な知識と技術を体得します。

総合教育

専門基礎教育

●海外保健福祉事情I(講義) ●海外保健福祉事情I(実習)

●関連職種連携ワーク □リスクマネジメント論 □ケアマネジメント論 □カウンセリング論

総合教育

●地域・在宅看護学演習●成人看護学総合演習●老年看護学方法論●本年看護学演習●小児看護学方法論●小児看護学演習●リプロダクティブへルス看護学方法論 ●リプロダクティブへルス看護学演習 ●精神看護学方法論 ●精神看護学演習 ●医療安全と看護 ●研究方法論 □クリティカルケア論 □地域診断論* □公衆衛生看護活動論* □公衆衛生看護技術論署

専門教育/臨地実習

●地域·在宅看護学実習I(地域での療養支援)●成人·老年看護学実習I(慢性期)●成人·老年看護学実習I(高齢期)●成人·老年看護学実習I(高齢期) ●小児看護学実習I(病院で治療を受ける子ども)●リプロダクティブヘルス看護学実習●精神看護学実習

看護に関する広い視野と高い専門性を培う

グローバルな視点で健康問題を理解し、問題に応じたケアを実施するための知識、技術を学びます。看護師や保健師の国家試験に向けた学修に取り組むなど4年間の集大成となります。

専門教育

□死生学-死を通して生を考える-

専門基礎教育 □関連職種連携実習

●災害看護学* ●国際看護学* ●卒業研究 □エンドオブライフケア □看護管理論 □看護教育学 □公衆衛生看護技術演習* □産業·学校看護活動論* □公衆衛生看護管理論*

■看護学統合実習 □公衆衛生看護学実習I(個人・家族、集団・組織の支援実習)* □公衆衛生看護学実習I(公衆衛生看護活動展開実習)*

●=必修科目 □=選択科目 *は保健師国家試験受験資格取得に必要な科目

本学では、医学・医療福祉教育において注目されている早期体験実習を導入し、1年次より実習を実施。教室で学んだ知識をスキルとして定着させます。

「生活支援論実習」は、はじめて受け持ち患者さんを担当し、日常 生活の援助を体験します。また、多職種連携の実際に触れ、看護師 や他の専門職との協働について学びます。

期間 5日間

学びます。

病む人々の健康問題の解決に向けた看護過程(問題解決過程)を 展開しながら看護実践の基盤となる思考方法を学び、目常生活を 支える看護技術を実践します。



小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学や 在宅看護学実習を通して、さまざまな健康レベルや発達段階に おける看護を理解します。また対象者に適した看護を実践するために 必要な知識や技術を学び看護の実践能力を 間 18週間 高めます。

複数の対象者への援助を通して、チーム医療の中での看護実践 方法や看護の継続について総合的に理解するための統合看護を

期間 2週間



グループ関連医療福祉施設と密に連携し 先進の教育・研究と質の高い臨地実習を 行います。

22